

# 全日本女子相撲選手権大会・全日本中学生女子相撲大会・全日本小学生女子相撲大会 開催時の感染防止対策

## 1 会場責任者の選任

複数名を選任する。  
大会開催時に定期的に巡回を行う。  
指導に従わない時には、退場を求めることができる。

## 2 健康観察

前2週間の健康チェック表を受付時に提出する。  
中学生以上の者は3回以上のコロナワクチン接種を受けるか、9月29日以降にPCR検査を受け、陰性であること。  
なお、小学生の者はワクチン接種を受けること又はPCR検査を受け陰性であることが望ましい。

## 3 マスクの着用

取り組み時以外はマスクを着用する。  
息苦しくなった場合は外してもよいが、人との十分な距離を確認して外す。

## 4 受付

体温チェック（37.5℃以上の者は入場を制限する。）  
マスク着用確認  
健康チェックシートの回収、確認  
並ぶ間隔を確保  
手指アルコール消毒

## 5 入場できる者

- ①役員、審判員
- ②出場選手(選手の家族等の観戦については、1名につき2人までとする。事前に届け出て許可を得ること)
- ③監督やコーチ等、選手の指導者
- ④補助員
- ⑤報道
- ⑥事前に届け出があって、許可を得た者(選手の家族等)

## 6 会場の密集防止策

更衣室の使用や計量は時間差をつけて行う。  
×印のついた座席には着席しない。

## 7 声出しの禁止

声を出しての応援は禁止とする。

## 8 試合前後の行動

タオル、うがい用の水（ペットボトル等を準備）は、自分専用のもを使用する。  
取組前後には、自分の手指、顔面、足等の消毒に適した、消毒薬やアルコールティッシュなどで体表面を清拭し、清潔を保つ。

## 9 消毒用品の常備

必要な除菌用品は、主催者で用意するが、各自でも常備する。  
マスクを収納する袋等を用意する。

## 10 ごみの処理

本人が持ち帰る。

## 11 審判員

審判長、副審は、マスクを着用し、主審は、マウスシールドを使用する。  
協議は、マスク着用のまま行い、通常以上の間隔をあける。

## 12 その他

- ①一般観客の入場は禁止とする。
- ②ビデオ・写真の撮影は許可のないものは禁止とする。
- ③その他（公財）日本相撲連盟「相撲における競技会再開ガイドライン」に基づき実施する。